

「言葉の院外処方箋」

新渡戸稲造記念センター 長 樋野興夫

第 114 回

『「学びの場」 ～ 『寄り添い方』 & 『いい言葉』 ～ 』

2022年6月18日 午前中 早稲田大学エクステンションセンター中野校での5回連続春講座『がんと生きる哲学』～ 医師との対話を通して「がん」と生きる方法を考える ～』の5回目の講座に赴いた。

【目標:がんとともに暮らすことを知り、がん患者と対話し、がん患者に寄りそう方法を受講者自らがみつけ、笑顔になることをめざします。

講義概要:「がん哲学」とは、生きることの根源的な意味を考えようとする患者と、がんの発生と成長に哲学的な意味を見出そうとする医師との対話から生まれました。病理学者としての立場から、科学としての癌学には哲学的な考え方を取り入れていく領域があるとの立場に立ち『がん哲学』を提唱しています。日本人の半分以上ががんになる時代、好むと好まざるとにかかわらず、多くの人ががんと一緒に生きる方法を見つけなければなりません。授業ではテキストの読みあわせと解説をしつつ、受講者とのディスカッションを中心に講義をすすめます。がんとともに生きている患者さん、がん患者の家族や身近に患者がいる人、医療従事者等のがん患者に寄りそいたいと思うかたすべてが対象です。】と謳われている。

テキスト:『がん細胞から学んだ生き方』(へるす出版)を用いて、今回は、「大学の外に学びの場を」、「対話とカウンセリングの違い」を音読しながら進めた。受講者の真摯な質問には大いに感動した。次回の夏講座は早稲田校で、秋講座は中野校で開講の予定とのことである。

講座を受講された方と昼食後、中野駅から駒沢大学駅に向かった。『がん哲学外来メディカルカフェ IN 世田谷深沢 2周年記念講演会』(深沢教会に於いて)に参上した(画像1)。【2周年記念講演 樋野興夫先生をお迎えします! がん哲学外来の心得の3か条『寄り添い方』&『種を蒔く』&『いい言葉』】と紹介されていた。今回は、『がん哲学外来メディカルカフェ IN 世田谷深沢』を開設され、昨年ご逝去された月岡邦彦氏の追悼記念ともなった(画像2)。スタッフの皆様の熱意には、ただただ感服した。本当に充実した貴重な1日となった。

がん哲学外来メディカルカフェ IN 世田谷深沢

2周年記念講演
樋野興夫先生
をお迎えます！
がん哲学外来の心得の
3か条
『寄り添い方』&『種を蒔く』&
『いい言葉』

2022年6月18日(土)

14時～16時

会場：深沢教会

世田谷区駒沢5-13-12

がん患者や家族、関係者がお茶を飲みながら心を解放できる、安心して安全な集いです。病気であっても病人でない生き方を求めて、解決はできなくても解消する場です。

深沢教会は駒沢大学駅より徒歩15分です。自由が丘駅からバスもあります。詳しくは教会HPをご覧ください
(HP:<http://www.fukasawa-c.com/>)

講演者：樋野興夫先生(順天堂大学名誉教授、恵泉女学園理事長、一般社団法人がん哲学外来理事長、新渡戸稲造



記念センター長ほか)

※ご講演の後、2～3組の方に実際にがん哲学外来(面談)を実施して頂きます。希望の方はお申し

出ください(先着順)

主催・申し込み先：がん哲学外来メディカルカフェin世田谷・深沢 fukasawacafe@gmail.com
※お名前・連絡先(ご住所・お電話・メールアドレス等)をお知らせください

後援：一般社団法人がん哲学外来／協力：日本キリスト教団深沢教会

第一部 14時～14時40分
樋野先生ご講演

第二部 14時45分～16時

ほっこりとした対話を楽しみましょう

会費：300円

